

# 「岩手県自動車関連産業振興アクションプラン」の概要について

## 1 岩手県の自動車関連産業振興に係る取組み

2008（H20）年7月：「岩手県自動車関連産業成長戦略」策定

### 【成長戦略における目指す姿】

- ◎国内の新たな自動車生産拠点の牽引役
- ◎世界への部品・新技術・完成車の供給拠点
- ◎国内有数のものづくり産業集積地の形成

### 【大きな環境変化】

- 「トヨタ自動車東日本」の設立：東北のモノづくり強化を通じて復興に寄与するとして、東日本を「地域完結型のコンパクト車生産・開発」の拠点へ
- 本県の提案「次世代モビリティの開発拠点」が、文部科学省「地域イノベーション戦略推進地域（東日本大震災復興支援型）」に選定

2013（H25）年2月：「岩手県自動車関連産業アクションプラン」を策定

2017（H29）年3月：「岩手県自動車関連産業アクションプラン（改訂版）」を策定

## 2 「岩手県自動車関連産業アクションプラン」の概要

### ■目指す姿

岩手県が東日本に形成される「地域完結型のコンパクト車・環境対応車等の開発・生産拠点」の中核となり、岩手県自動車関連産業成長戦略の目指す姿を実現することで、東日本大震災からの復旧・復興を牽引する役割を果たす。

### ■4つの戦略と目指す姿

戦 略	目 指 す 姿
戦略Ⅰ サプライチェーン構築支援	<p>○東日本において自動車関連産業のサプライチェーンが形成され、その中で県内企業が中心的な役割を果たしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業各社が技術力やコスト競争力を高めるとともに、企業間連携により各社の強みを発揮し、サプライヤーとの取引を拡大している。</li> <li>・サプライチェーンの形成に必要な分野を担う企業が立地し、コンパクト車生産が地域内で完結する体制が整っている。</li> </ul>
戦略Ⅱ 研究開発促進	<p>○産学官連携支援体制を構築し、大学・公設試等の技術シーズと県内企業の技術ニーズをマッチングさせることにより、次世代製造技術等の開発が持続的に実施されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の産業・学術機関・公設試等が持つ強みを発揮し、企業ニーズに合致した研究開発が行われる体制が確立している。</li> <li>・メーカーやサプライヤー等における設計開発段階から参画できる県内企業が育成されている。</li> <li>・環境対応や安全性向など、業界ニーズに対応した次世代技術が迅速に事業化・実用化されている。</li> </ul>
戦略Ⅲ 人材育成・定着	<p>○自動車関連産業のサプライチェーンや研究開発を支えるものづくり人材が持続的に育成され、各分野で活躍するとともに、県内外からの人材が県内に定着し、自動車産業を支えている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界ナンバーワン、オンリーワンの技術が強みに、設計・開発部門を支える高度技術・研究開発人材が育成されている。</li> <li>・次世代技術に対応できる人材など、メーカーやサプライヤー等が求める人材が育成されている。</li> <li>・生産技術を支える技術者が育成されている。</li> <li>・県内外から必要な人材が県内に定着し、自動車産業を支えている。</li> </ul>
戦略Ⅳ 立地環境整備	<p>○自動車関連産業の集積をさらに加速させるため、新たな交通ネットワークが構築され、人の流れの効率化・時間短縮が図られ、また、企業の新規立地や業容拡大が進んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興道路等の開通や重要港湾の機能強化等により、内陸部と沿岸部を結ぶ新たな物流ネットワークが構築されている。</li> <li>・自動車関連企業等の物流ニーズに対応したインフラ整備により、物流の効率化・時間短縮が図られている。</li> <li>・いわて花巻空港の国内路線の維持拡充等により、移動の効率化が図られている。</li> </ul>

### 3 目指す姿の実現に向けた取組み

#### 取組みの方向性・取組体制

目指す姿の着実な実現を図るため、県及び関係機関が一丸となって、いわて自動車関連産業集積促進協議会の会員を中心とした県内企業及び県内大学等と、自動車メーカー・サプライヤーの連携を強化しながら、東日本大震災復旧・復興の動きとも連動し、平成 28 年度までの 5 年間で、4 つの戦略に基づいた取組みを集中的・重点的に実施するものとする。

個別戦略における取組事項(囲みは新規の取組み)	達成目標 (平成 30 年度)	必要な予算措置等
<p><b>戦略Ⅰ サプライチェーン構築支援</b></p> <p>※自動車メーカーと県との継続的な信頼関係を保ち、綿密な情報交換に基づき取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内で不足する分野の誘致促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で不足する分野等をターゲットにした企業・事業誘致</li> </ul> </li> <li>○取引拡大が有望な企業への重点的な支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調達部品のニーズ把握、県内企業とのマッチング促進</li> <li>・県内企業のグループ化による受注体制の整備促進</li> <li>・県内企業の設備整備促進</li> </ul> </li> <li>○自動車関連産業の裾野拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわて自動車関連産業集積促進協議会への参加促進、セミナー・勉強会の開催等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調達部品の拡大に向けた重点支援企業数：56 社</li> <li>・重点支援企業の出荷額伸び率：平成 22 年度比 50% 増</li> <li>・裾野拡大に向けた支援企業数：140 社</li> </ul>	<p>【自動車関連産業振興専担組織の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連産業の振興に係る窓口機能・組織対応の強化、情報の共有と意思決定の迅速化</li> </ul>
<p><b>戦略Ⅱ 研究開発促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○次世代モビリティの開発拠点形成（地域イノベーション戦略推進プロジェクトの推進）における高効果事業の継続           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車産業に精通したプロジェクトディレクターを中心として、研究開発から製品化・実用化まで一貫してコーディネートする「知のネットワーク」を構築</li> <li>・学生フォーミュラへの参加等を通じた次世代高度技術人材の育成</li> </ul> </li> <li>○次世代技術の開発促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像処理技術や分子接合技術等を活用した生産技術や製品の研究開発を進め、生産性の向上や付加価値の増大を実現</li> </ul> </li> <li>○有望な研究開発シーズの発掘・研究開発型企業の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・試作開発や生産技術に関する参画促進等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業化件数：16 件</li> <li>・研究開発促進による新規取引件数：42 件</li> </ul>	<p>【自動車関連産業に対する重点的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連企業の立地・関連産業の振興に資するソフト・ハードの支援を短期間で集中的・重点的に実施</li> </ul>
<p><b>戦略Ⅲ 人材育成・定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高度技術・研究開発人材の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代モビリティの開発を可能とする高度技術者の育成プログラムの構築</li> </ul> </li> <li>○企業人材の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産技術高度化研修会等の取組拡充（沿岸被災地域にも波及）、カイゼン指導・研修等の取組拡充等</li> </ul> </li> <li>○次代を担うものづくり人材の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ものづくりネットワーク及び専攻科等による育成強化、メーカーとの連携等</li> </ul> </li> <li>○人材の定着の支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の人材と企業とのマッチングによる人材の定着支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術人材育成者数：1,100 名</li> <li>・工業高校における技能士数：3,800 名</li> <li>・製造業への県内新規就職者数：1,700 名</li> </ul>	<p>【研究開発や高度技術人材に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官金の結集によるプロジェクトの実施</li> <li>・次代の研究開発シーズ・研究開発型企業の育成支援</li> </ul>
<p><b>戦略Ⅳ 立地環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○内陸部と沿岸部を結ぶ新たな物流ネットワークの構築</li> <li>○県南地域の物流の効率化</li> <li>○輸送ルートにおける適切な道路の維持管理</li> <li>○港湾の復旧・整備及び利活用促進</li> <li>○空港の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手中部（金ヶ崎）工業団地～釜石港間の時間短縮：約 15 分</li> <li>・岩手中部（金ヶ崎）工業団地～宮古港間の時間短縮：約 40 分</li> <li>・港湾取扱貨物量の能力向上：約 3 倍</li> </ul>	<p>【自動車関連産業の立地環境整備に係る事業の重点化・加速化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流インフラの整備促進、移動時間の短縮</li> </ul>